

ごみ焼却施設建設工事

優先交渉権者決定基準
(抜粋)

平成 29 年 3 月

有明生活環境施設組合

有明生活環境施設組合 ごみ焼却施設建設工事

優先交渉権者決定基準（抜粋）

目 次

1	優先交渉権者選定の審査手順	1
1)	優先交渉権者決定基準の位置付け	1
2)	審査の手順	1
3)	審査の流れ	2
2	プロポーザル参加資格審査	3
1)	審査方法	3
2)	審査する内容	3
3	技術提案書類及び最終見積書等の審査	3
1)	審査の方法	3
2)	確認する内容	3
4	定量化審査	3
1)	定量化審査の基本方針	3
2)	審査の方法	3
3)	審査項目及び配点	4
4)	審査項目に対する評価の視点	5

1 優先交渉権者選定の審査手順

1) 優先交渉権者決定基準の位置付け

有明生活環境施設組合(以下「本組合」という。)は、ごみ焼却施設建設工事(以下「本工事」という。)を実施する。

本工事は、ごみ焼却施設の設計・建設に関する専門的な技術やノウハウの保有が必須となるため、本工事の請負者は、最終見積価格だけでなく、技術提案内容及び最終見積価格の総合的な評価によって優先交渉権者を決定する。

本工事の優先交渉権者決定基準(以下「優先交渉権者決定基準」という。)は、本工事のプロポーザル参加資格申請者のプロポーザル参加資格要件の審査をするため、及び本工事に係るプロポーザル説明書類に基づきプロポーザル参加者から提出された技術提案書類を客観的に審査し、提案内容及び最終見積価格を得点化して、総合評価点数が最も高かった者を優秀提案者として優先交渉権者に決定するために設置するものである。

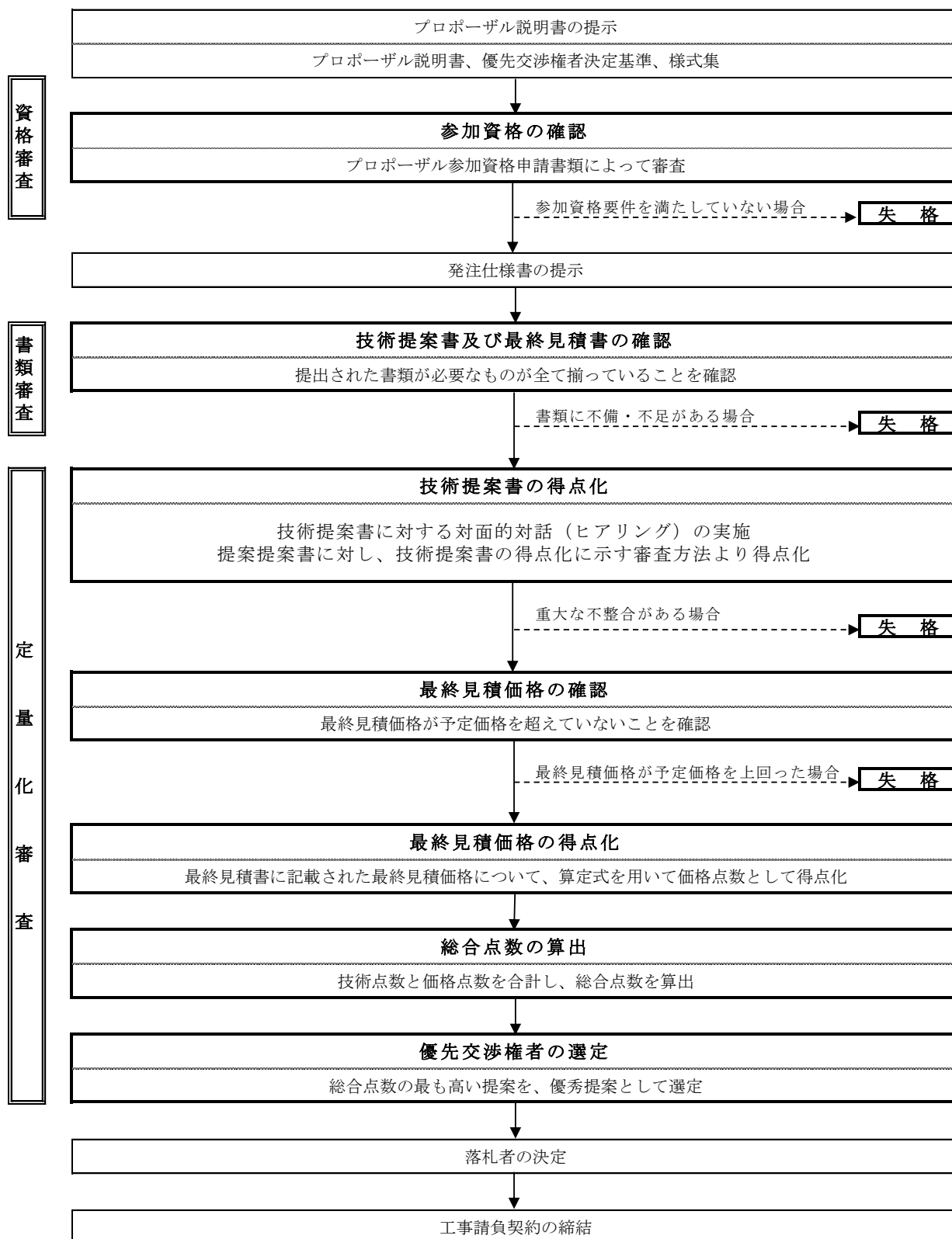
2) 審査の手順

本工事に係るプロポーザル参加資格の審査からの優先交渉権者決定までの審査の手順は次のとおりとする。

- ① プロポーザル参加資格の審査
- ② 技術提案書及び最終見積価格の定量化
- ③ 総合点数の算出
- ④ 優先交渉権者の決定(優秀提案者の選定)

3) 審査の流れ

審査の流れを以下に示す。



2 プロポーザル参加資格審査

1) 審査方法

本工事のプロポーザル参加を希望する者から提出されるプロポーザル参加表明書及びプロポーザル参加資格審査申請書に対し、本工事に係るプロポーザル説明書に従って、プロポーザル参加者の備えるべきプロポーザル参加資格要件（以下「プロポーザル参加資格要件」という。）を満たしているか審査を行う。審査の結果、プロポーザル参加資格要件を満たしていない者は参加できない。

2) 審査する内容

- ① プロポーザル説明書に示した提出書類が全て揃っていること。
- ② 提出書類がプロポーザル説明書に示した方法で提出されていること。
- ③ 参加者がプロポーザル説明書に示された参加資格要件を満たしていること。

3 技術提案書類及び最終見積書等の審査

1) 審査の方法

技術提案書及び最終見積書等の構成、項目等が定量化審査に支障がないことを確認する。この結果、書類の不備・不足が確認された場合は失格とする。

2) 確認する内容

- ① 提出された技術提案書及び最終見積書等が全て揃っていること。
- ② 技術提案書及び最終見積書等の構成及び項目が定量化審査の審査項目を満たしていること。

4 定量化審査

1) 定量化審査の基本方針

本工事の目的を実現する上で必要な事項を審査項目とし、提案内容の定量化を図ることにより、客観的な視点から最も優秀な提案を選定する。

2) 審査の方法

プロポーザル参加者から提出された技術提案書の内容及び最終見積価格について、審査項目ごとに得点化を行い、それらを合計した総合点数の最も高かったものを、優秀提案者として選定する。

① 技術提案書に対する対面的対話（ヒアリング）

技術提案書の審査及び定量化を行うにあたり、参加者に対して対面的対話を行う。

対面的対話は平成30年6月を予定しているが、実施日時及び場所方法は、別途通知する。

② 技術提案書の提案内容の定量化

提案内容について、優先交渉権者決定基準に示す得点化の基準に基づき、得点化を行う。

なお、発注仕様書に対する重大な不整合（性能やリスク分担に関する不整合、同一事項に対する2通り以上の提案、提案事項間の齟齬・矛盾等）がある場合は、失格とする。

③ 最終見積価格の定量化

予定価格の制限範囲内の価格の最終見積価格について、優先交渉権者決定基準に示す得点化の算定式に基づき得点化を行う。

3) 審査項目及び配点

審査項目は、次のとおりとする。

第1表 審査項目

審査項目			
大項目	中項目	小項目	
技術提案書	施設整備の基本方針に対する計画	環境保全対策を優先した施設に関する事項	
		資源の循環とごみの持つエネルギーの有効利用に優れた施設に関する事項	
		ごみを安全かつ安定的に処理できる施設に関する事項	
		周辺環境と地域に調和する施設に関する事項	
		経済性に優れた施設及び運営管理体制に関する事項	
		小 計	
	施工に対する計画	軟弱地盤（有明粘土）に対する施工対策に関する事項	
		施工中の環境保全対策に関する事項	
		工事工程計画に関する事項	
		地域経済への配慮に関する事項	
		小 計	
	技術提案書の配点（配点計）		
	最終見積書	工事費用の提案内容（最終見積価格に関する事項）	
	配点合計		

4) 審査項目に対する評価の視点

審査項目に対する審査の視点は以下のとおりとする。

第2表 施設整備の基本方針に対する計画

審査項目	評価の視点
環境保全対策を優先した施設に関する事項	
温室効果ガス削減への配慮	温室効果ガス排出量の有効な削減対策がなされているか。
	本施設から排出される二酸化炭素の量。注1)
環境保全に対する配慮	環境保全（排ガス、粉じん、騒音、振動、悪臭）に有効な対策がなされているか。
その他の提案	有効かつ具体的な提案か。
資源の循環とごみの持つエネルギーの有効利用に優れた施設に関する事項	
余熱利用と省エネルギー	エネルギー回収の効率向上のための有効な対策がなされているか。
	基準ごみにおけるエネルギー回収率。
	省エネルギー化のための有効な対策がなされているか。
その他の提案	有効かつ具体的な提案か。
ごみを安全かつ安定的に処理できる施設に関する事項	
安定稼働性に対する対策	ごみ量・ごみ質の変動に対する有効な対策がなされているか。
	トラブル発生時の対応に対する有効な対策がなされているか。
	燃焼性向上及び安定性向上に対する有効な対策がなされているか。
災害に対する対策	耐震性に対する対策が十分になされているか。
	耐水性に対する対策が十分になされているか。
	耐浪性に対する対策が十分になされているか。
	耐風性に対する対策が十分になされているか。
その他の提案	有効かつ具体的な提案か。
周辺環境と地域に調和する施設に関する事項	
全体配置計画・動線計画	安全性・利便性に配慮した計画がなされているか。
意匠・景観計画	周辺環境に調和する意匠・景観計画がなされているか。
環境教育、情報発信計画	環境教育に役立つ対策がなされているか。
	見学者ルート、見学スペースが考慮されているか。
その他の提案	有効かつ具体的な提案か。

審査項目	評価の視点
経済性に優れた施設及び管理運営体制に関する事項	
維持管理計画	年間用役量。
	適切な整備計画が提案されているか。
	適切な大規模改修計画が提案されているか。
人員配置計画	適切な人員が配置されているか。
その他の提案	有効かつ具体的な提案か

注 1) 廃棄物処理部門における温室効果ガス排出抑制等指針の「エネルギーの使用及び熱回収に係る年間 CO₂ 排出実績の算出」に沿って計算すること。

第 3 表 施工に対する計画

審査項目	評価の視点
軟弱地盤に対する施工計画に関する事項	
軟弱地盤（有明粘土）に対する計画	適切な仮設計画が提案されているか。
	適切な地盤沈下防止対策が提案されているか。
	適切な杭の打設計画が提案されているか。
その他の提案	有効かつ具体的な提案か。
施工中の環境保全対策に関する事項	
周辺の農水産業に対する配慮	周辺の農水産業に対して、施工中の環境保全対策が考慮されているか。
周辺環境に対する配慮	周辺環境に対して、施工中の道路の汚染防止や周辺環境保全対策が考慮されているか。
その他の提案	有効かつ具体的な提案か。
工事工程計画に関する事項	
全体工事計画及び施工計画	適切な工期及び施工計画が提案されているか。
地域経済への配慮に関する事項	
地域経済への配慮	地元産資材の活用額
	下請け工事における組合圏内の建設業者等の活用額